

接合科学研究所が令和5年度外務大臣表彰を受賞

接合科学研究所のベトナムにおける高度溶接技術者育成や溶接・接合に係る研究力の向上への貢献が評価され、令和5年8月22日に外務省飯倉別館において令和5年度外務大臣表彰を受賞しました。この賞は毎年、海外での活動に貢献した個人や団体に贈られるものです。当日の表彰式には田中 学前所長（現在、理事・副学長）が出席し、林 芳正外務大臣から直接表彰状が授与されました。この受賞を新たな活力にし、今後も今年1月にベトナムのハノイ工科大学に設立された接合科学研究所 HUST-OU を中心に、ベトナムの発展を支え、わが国の友好親善に寄与する所存です。

（受賞者功績概要）

接合科学研究所は、ベトナムの発展を支える高度溶接人材の溶接・接合に係る研究力向上、溶接技術管理者不足の改善を目指し、2013年にハノイ工科大学機械工学部と連携を開始、留学生や若手研究者を受入れ、人材育成に貢献してきた。2016年研究・交流活動を推進し、2018年にはベトナム溶接研究会を設立。ハノイ工科大学と日本企業の連携に向けて定期的にセミナーを開催する等関係者間のネットワーク構築・強化に尽力した。また同年には民間企業と連携して共同研究を開始、ベトナムの溶接技術の向上に寄与。2023年には、同地域初の溶接・接合研究に特化した「接合科学研究所 HUST-OU」をハノイ工科大学と共同で設立。

（外務省関連サイト）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press6_001560.html

